



▲タイムカプセルから出てきた思い出の品から、自分が書いたものを探す参加者

25年前の自分に対面！

東部っ子像タイムカプセル開放式&同窓会

早春の1月6日、東部小で昭和49年4月から昭和55年3月生まれの当時の在校生や先生、育友会役員が約150人集まり、タイムカプセル開放式がありました。タイムカプセルは昭和62年3月に校舎前にブロンズ像の「ひびけ東部の子」が誕生したときに全校児童で像の後ろに埋め込んだもの。4月に開校する小中一貫校（現中学校）にブロンズ像が移転するため、今回の開放となりました。

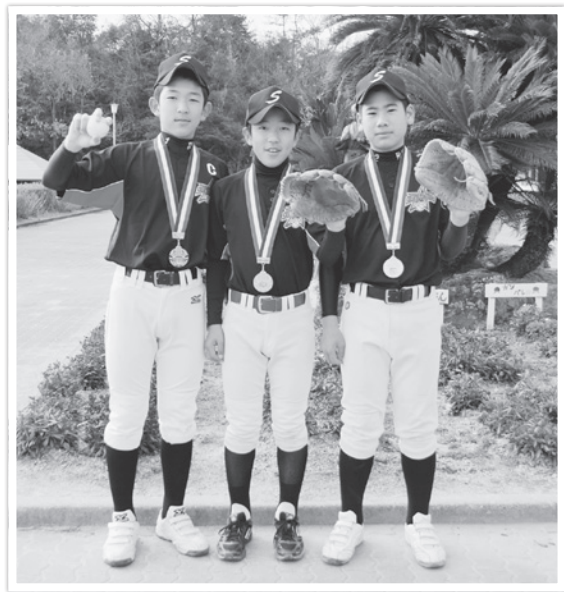
タイムカプセルからは、当時の1年から6年までのクラスごとに書いた作文や絵が出てきました。参加者からは、「めっちゃめっちゃ涙が出た。こんな機会を設けてもらってうれしい」と、写真を撮ったり、懐かしい校舎を見学したりして、集まった仲間との再会を楽しみました。その後、公民館で大同窓会を行い、当時を懐かしむことができました。

多久の3選手が活躍 選抜チームが九州大会で優勝！

第2回九州選抜対抗学童軟式野球選手権大会

12月22～24日に福岡県の光陵グリーンスタジアムで開かれた第2回九州選抜対抗学童軟式野球選手権大会に、佐賀代表として佐賀オールスターズが出場し、優勝を飾りました。その佐賀選抜チームの主力メンバーとして北部小6年の柿木蓮さん、竹下練さん、東部小6年の古賀光汰さんが出場しました。

柿木さんは、佐賀オールスターズの主将として、またピッチャーとして活躍。「みんなのチームワークで勝てた」と試合を振り返りました。竹下さんはキャッチャーで4打点を叩き出し、今大会の最優秀賞を受賞。「みんなで団結して勝って嬉しかった」と喜び、守備はレフトで、4番バッターの古賀さんは、駿足を活かして活躍。「みんなで勝ちにこだわりたいと思った」と語ってくれました。これからも3人の活躍が期待されます。



◀優勝メダルをして、写真に収まる柿木さん、古賀さん、竹下さん（左から）

秋次さん総務大臣表彰を受賞

12/19

自治会等地縁による団体において、地域的な共同活動に尽くされた方に贈られる総務大臣表彰を、東多久町の秋次秋子さんを受賞されました。池ノ平区長として26年間にわたり地域活動に貢献された功績によるものです。多久市での地縁による団体功労者表彰は初めてです。

秋次さんは、「感謝に堪えません。地域の協力と市のおかげです。何か起これば、市の方に助けていただきました」と受賞の喜びを語られました。



永石さん厚生労働大臣表彰を報告

12/18

厚生労働省にて厚生労働大臣表彰を受賞した永石英彦さん（北多久町高木川内）が、横尾市長を表敬訪問し受賞の報告をしました。永石さんは、多年にわたり北多久町遺族会会長、多久市遺族会副会長として援護事業に尽力。現在も戦没者遺族相談員として活躍され、今回の援護事業功労者受賞となりました。

永石さんは「会員が高齢化しているが、今後とも遺族会のために役に立つことなら頑張りたい」と話されました。

